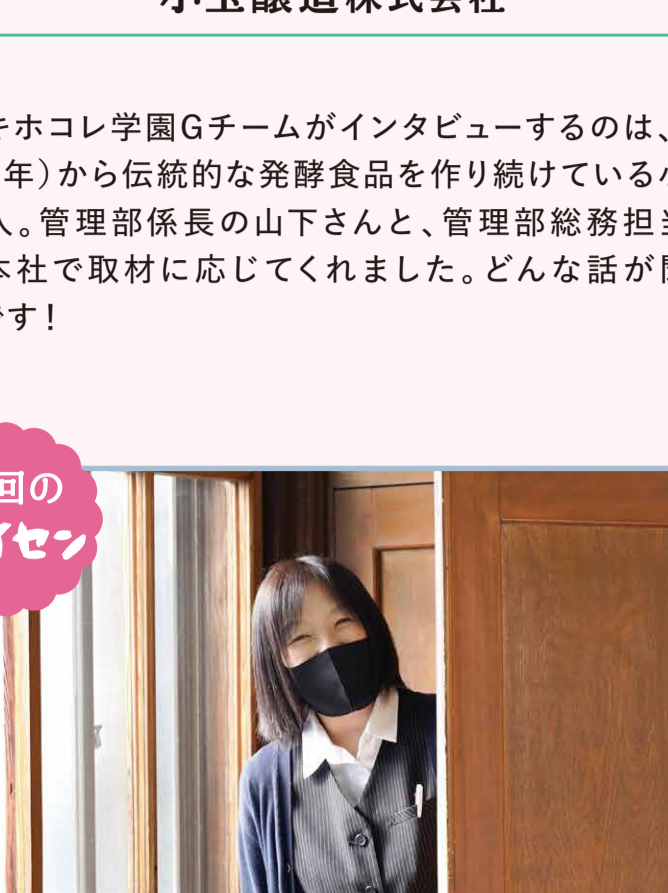


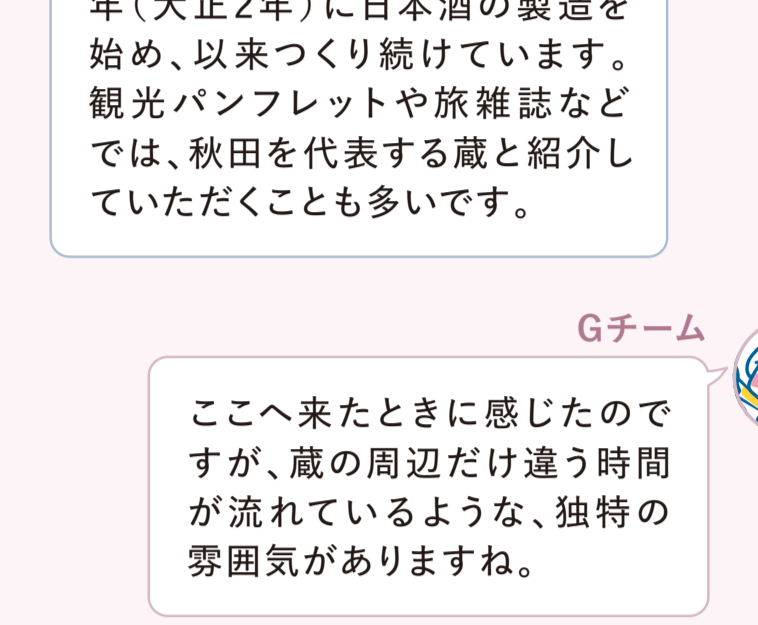
仕事もプライベートも充実した秋田ライフを送りたい。
学園のメンバーが人生の『パイセン』に、
仕事のこと、プライベートのこと、何でも聞いてみました!



小玉醸造株式会社

今回サキホコレ学園Gチームがインタビューするのは、1879年(明治12年)から伝統的な発酵食品を作り続けている小玉醸造のお二人。管理部係長の山下さんと、管理部総務担当の小玉さんが本社で取材に応じてくれました。どんな話が聞けるか楽しみです!

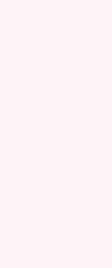
今回のパイセン



山下さん

Gチーム

本日はよろしくお願いします。



山下さん・小玉さん

よろしくお願いします。

Gチーム

初めに、小玉醸造の歴史と概要を簡単に教えてください。



小玉さん

小玉醸造株式会社は最初は味噌と醤油だけの蔵でしたが、1913年(大正2年)に日本酒の製造を始め、以来つくり続けています。観光パンフレットや旅雑誌などでは、秋田を代表する蔵と紹介していただくことも多いです。

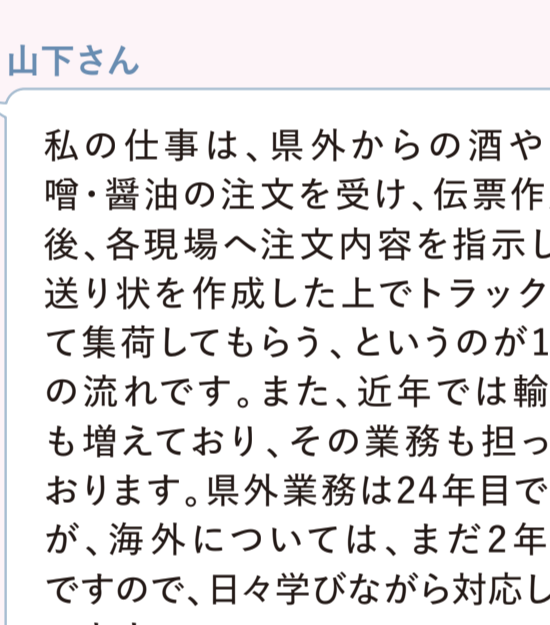
Gチーム

ここへ来たときに感じたのですが、蔵の周辺だけ違う時間が流れているような、独特の雰囲気がありますね。



小玉さん

創業当時の建築群を中心に街並みが作られているからでしょうか。こういう風に古い建物が数多く残っている地区は、確かにこの辺りでは珍しいかもしれません。



Gチーム

ホームページを拝見したのですが、商品の点数がとて多くて驚きました。幅広いラインナップを展開するのはどうしてですか?

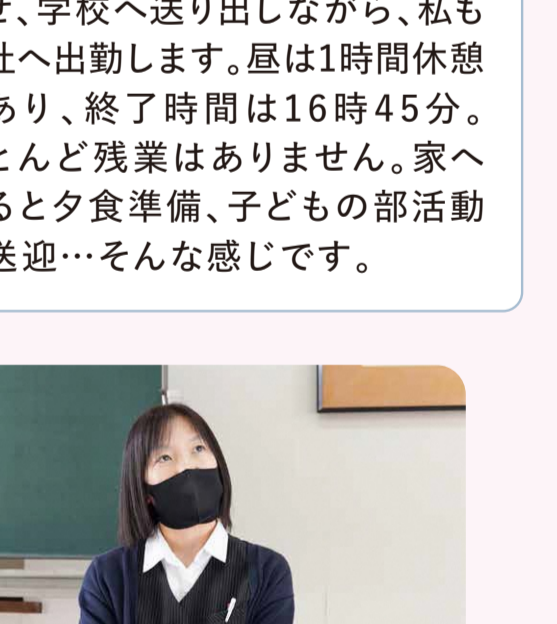


小玉さん

常に新しいことへチャレンジし続けているためです。容量の違いなどを含め、現在弊社が展開している商品は100種類以上。これは人々のライフスタイルや趣味嗜好が多様化している今の時代に合わせ、いろいろな試みを続けてきた結果です。また製造以外にも、酒蔵をイベントホールにリノベーションして、展覧会やコンサートイベントなど文化発信の場として活用するといったこともしています。

Gチーム

なるほど。伝統を受け継ぐだけでなく、同時に創造もしているんですね。山下さんはどんなところに魅力を感じて、ここで働くことに決めたのですか?



山下さん

やっぱり自分は生まれ育ったこの地域にいたいと思ったからです。

Gチーム

“やっぱり”と言うことは、過去にいろいろと思い巡らせたんですね?



山下さん

そうですね。最初から地元就職を強く望んでいたわけでもありませんし、ただ決めて地元が嫌だったとかそういうことでもありません。自分の中で将来、どこでどんな結果を送りたいかを突き詰めた結果、スーパーでよく見かける味噌・醤油やお酒を古くから作っている小玉醸造に興味を持ち、地元暮らしを選んだ感じです。

Gチーム

山下さんのここでのお仕事について聞かせてください。



山下さん

私の仕事は、県外からの酒や味噌・醤油の注文を受け、伝票作成後、各現場へ注文内容を指示し、送り状を作成した上でトラックにて集荷してもらう、というのが1日の流れです。また、近年では輸出も増えており、その業務も担っております。県外業務は24年目ですが、海外については、まだ2年目ですので、日々学びながら対応しています。

Gチーム

問い合わせで一番多いのは、こういった質問ですか?



山下さん

このお味噌やお醤油、お酒はどこに行けば買えるの?といった質問ですね。他にも、このお酒はどういう造りをしていて、酒米は何を使っている、どういう味に仕上がっているのかといったようなことも聞かれます。

Gチーム

うわあ、それは難しい……。一つ一つの商品について理解を深めておかなければならないのは大変ですね。

山下さん

大変な分、やりがいもあります。お客さまに「前に紹介してもらったあの日本酒、おいしかったよ」と言われたりすると、本当にうれしくなります。

Gチーム

山下さんの1日は、どのような流れになっていますか?

山下さん

始業時間が8時からなので、朝起きて家族分のお弁当作り、子どもたちをたき起こし、朝食を食べさせ、学校へ送り出しながら、私も会社へ出勤します。昼は1時間休憩があり、終了時間は16時45分。ほとんど残業はありません。家へ帰ると夕食準備、子どもの部活動の送迎...そんな感じです。

Gチーム

子育てをしながら働く上で、一番大変なことは何でしょう。

山下さん

今は子どもが中学生と小学校高学年なので落ち着きましたが、保育園に預けていた頃は朝も夕方もバタバタで大変でした。あとは子どもが病気になったときですね。幸いこの会社には子育て世代をフォローする制度も、みんなで助け合う気風もそろっているので、身も心も疲れ果てるようなことはあまりないですね。それでも、迷惑かける事に対して、申し訳なく思う気持ちは常にありました。

Gチーム

なるほど。ちなみに小玉醸造が育児世代をフォローする制度を充実させていることには、何か理由があるんですか?

小玉さん

弊社は社員48名のうち18名が女性なんです。彼女たちは大事な戦力ですし、皆にずっとここで働いてもらいたいので、だいぶ前から産前産後休暇制度や育児・介護休暇制度は整えてきました。最近では男性社員にも育児休暇を積極的に取るよう呼びかけていて、実際に取得した例もあります。

Gチーム

いいですね。最後に山下さんにとって、一番のリフレッシュ方法を教えてください。

山下さん

バスケットです。週末、子どもが所属している部活の試合を見に行き、全力で応援することです。

Gチーム

そういうリフレッシュの仕方もあるんですね!お二人とも本日はお忙しいところ、ありがとうございました!

自然が豊かで、味わい深い文化が根付いていて、人は総じて温かい心を持ち、都会のような気ぜわしさは縁。そんなステキな秋田で、働きやすくてやりがいも得られる小玉醸造さんのような職場と出会うことができたら……。県外出身の私たちでも、こちらで生きることを選ぶかもしれません。大学卒業まで、秋田のお仕事事情をもっといろいろ見ていきたいと思います!